

島根県スポーツ協会100年のあゆみ

年月日	内 容
大正12年	大日本体育協会 岸清一会長の勸奨により、県内務部学務課が中心となって「県体協」設立の準備に入る
大正13年 1月 2月	財団法人島根県体育協会設立（1月26日） 総裁 別府総太郎（県知事） 会長 真船民伊（県内務部長）、理事12名 基本金 12,000円 事務局 県学務課内 登記完了
昭和3年	松江末次埋立地に県体協プール（50m、公認）竣工
昭和4年	松江市宮陸上競技場、野球場完成（西川津町） （県体協主催の大会もぼつぼつ始まる）
昭和6年	県体協の組織拡充と各競技団体の組織結成に着手 県体協加盟団体 陸上競技（協）、バスケットボール（協）、体操（連）、水泳（連） 剣道（連）、柔道（連）、弓道（連）、相撲（連）、卓球（協） 軟式野球（連）、軟式庭球（協）、バレーボール（協）、スキー（連） 計13
昭和11年 4月	出雲巡礼案内記 刊行
昭和12年 3月	島根遍歴案内 刊行
昭和14年 3月	旧浜田領巡礼案内記 刊行 厚生省・体力章検定制度制定、県体協も普及に努める
昭和16年	第二次世界大戦勃発により全国的競技大会中止（神宮大会を除く）、県内大会もほとんど中止
昭和17年	県体協は、財団法人大日本体育会島根県支部となり、中央の指揮監督下に入る
昭和18年 5月	創立当時の理事全員辞任。後任理事に田中円三郎県学務課長、色部正長（学務課）、古井善之助、馬場愼輔の4氏就任
昭和20年 9月 11月	民間の手により県体協再組 会長 桜内幹雄氏（中電松江支店長）、理事長 佐野広氏就任 事務局を中電松江支店内におく 第1回島根県体育大会開催
昭和21年11月	第1回国民体育大会秋季大会（京都）に島根県選手団を派遣 （男子12名、女子8名） 陸上競技200m 曾田英治選手 優勝、10種競技 佐藤不二男選手 第3位
昭和22年 8月	第1回中国5県陸上競技大会を松江市で開催

年月日	内 容
昭和23年	副会長 原田近氏、理事長 秋本盛一氏就任 事務局を県教育庁保健体育課内に移転 初の国体旗リレー、石川県から福岡県へ、島根県を通る
昭和29年	会長 恒松安夫氏(県知事)、副会長 上村運一氏就任 県教育委員会からの受託事業として国体選手団派遣、競技別県選手権大会開催の事業が始まる
昭和34年 4月	田部長右衛門氏(県知事) 会長就任
昭和36年10月	国体旗リレー、熊本県から秋田県へ、島根県庁での歓迎式の挨拶で田部長右衛門知事が「島根県も早くこの国体旗リレーの終着点になりたい。」と述べられ、島根県国体誘致が初めて知事から公式の場で表明された
昭和37年	島根国体の誘致に関して、県スポーツ振興審議会が県教育委員会に答申
昭和38年10月	山口国体秋季大会開会式を前に、田部知事が県選手団を激励「近い将来、必ず島根国体を実現させる。」と言明
昭和39年 1月 9月	スポーツ少年団誕生、県スポーツ少年団本部活動開始 岸清一博士銅像が県庁前に復元、除幕式挙行
昭和40年	「冬季トレーニング島根方式」県教育委員会と共同で研究、指導者への伝達、普及開始
昭和42年 8月	島根県スポーツマンクラブ竣工、県から無償貸付を受ける
昭和45年 2月 7月	県議会で田部知事が「島根国体は昭和54年の第34回大会を目途とする」と表明 県立武道館竣工、県体育協会事務局は武道館内に移転
昭和46年 1月 3月 4月	財団法人設立発起人会を開催、岡田善富理事長の就任に同意 財団法人島根県体育協会設立認可 会長 田部長右衛門、理事長 岡田善富 基本金 500万円(県補助) 登記完了 「体協募金」開始、目標1億5,000万円 県から無利子貸付金9,500万円を受ける
昭和47年 4月 11月	常務理事制を施行 事務局を県教育庁国体準備室内に移転 島根国体の昭和57年開催の申請順位が、日本体育協会の西地区県体育協会長会議で合意
昭和48年 4月 12月	「島根国体の成功と選手強化長期計画の樹立」をスローガンとした総決起大会を松江市で開催 体協募金の目標額を2億円に増額修正 第37回島根国体の各競技会場発表
昭和49年 9月	(財) 島根県体育協会だより第1号(創刊号)を発行
昭和50年 1月	(財) 島根県体育協会創立50周年記念事業を実施(記念式典、功労者表彰)

年月日	内 容
昭和50年 ～51年	「地域スポーツ振興・募金活動等懇談会」を11会場で開催、市町村体協の育成強化と募金の推進にあたる
昭和52年 3月 4月	県立体育館竣工 専務理事制を施行、常勤の初代専務理事に橋本謙次郎氏（教育庁参事）を選任 事務局を県立武道館に置き、総務管理部と体育振興部を設置 県立武道館と県立体育館の管理運営を受託
昭和53年 4月 6月	事務局長の目次安茂氏が常勤となる 体育指導員4名採用、市町村に派遣 県立サッカー場竣工、管理運営受託 第37回くにびき国体島根県選手強化対策本部発足
昭和54年 3月 4月 7月 10月	県内59市町村体協加盟完了 事務局を県庁別館3階に移転 理事定数を45名以内に改正 田部長右衛門氏が名誉会長に、恒松制治氏（県知事）が会長に就任 県立水泳プール竣工、管理運営受託 県民体育大会（当時、市郡対抗）始まる
昭和55年 3月 4月	島根県スポーツ指導者協議会発足 大田自転車競技場竣工 県立浜山公園のスポーツ指導業務受託
昭和56年 1月 5月 9月 10月	専務理事に目次安茂氏を選任 事務局を県庁第2分庁舎（旧日銀跡）に移転 西郷ヨット艇庫竣工 島根県漕艇庫竣工
昭和57年 3月 9月 10月	「くにびき国体200日前総合優勝総決起大会」開催 県体協スローガン「燃えよ!! 総合優勝へ力の限り」を決定 島根大東クレール射撃場取得整備完了 第37回くにびき国体夏季大会 第37回くにびき国体秋季大会 総合優勝祝賀パレードと祝賀パーティーを開催 天皇杯、皇后杯県内市町村巡回
昭和58年 1月 4月 5月	ポスト国体のスローガン「スポーツでゆるがぬ島根の国づくり」、「築け伝統スポーツ島根」を決定 「くにびき国体総合優勝記念誌」刊行 事務局に選手強化部を新設、県教育委員会から競技力維持向上対策事業（国体選手強化）を受託 寄附行為、諸規定を改正、理事定数を35名以内に減、財務委員会を廃止、スポーツ少年団委員会を新設 「くにびき国体終了後の県体協の組織等を検討する会」（代表 岡田副会長）でまとめた、県体協の「くにびき国体後の事業推進の構図」を承認 基本金に募金のうちの2億700万円を繰り入れ、総額2億1,200万円とすることを決定 専務理事に渡辺晴夫氏（教育庁参事）を選任

年月日	内 容
昭和59年 4月 5月 8月 12月	県立ライフル射撃場管理業務受託 基本金を100万円増額、総額2億1,300万円とすることを決定 スポーツ医・科学委員会発足 第39回国体中国地区大会を島根県で開催 島根県スポーツ少年団創立20周年記念事業を実施
昭和60年10月 11月 12月	(財) 島根県体育協会創立60周年記念事業を実施(記念式典、功労者表彰) 「島根の競技力」一くにびきの栄光を明日へー 発刊 スポーツ医・科学委員会で「スポーツ医・科学センター(仮称)建設基本構想調査研究報告書」をまとめ、知事をはじめ関係機関へセンター建設の早期実現を陳情
昭和61年 4月	専務理事に錦織弘侃氏を選任
昭和62年 4月 6月 9月 12月	専務理事に伊原章吉氏を選任 澄田信義氏(県知事)が会長に就任 島根県スポーツリーダーバンク設立 スポーツ医・科学センターの早期建設について陳情
平成元年 1月 7月 10月	「島根県体育史」刊行 第44回国体中国ブロック大会を島根県で開催 第44回国体における成績不振により「島根県競技力向上基本構想」及び「同5か年計画」を策定、競技力向上に取り組む
平成2年 4月 6月	事務局組織改正(部制を廃止) (財) 島根県体育協会賛助会員制度発足 島根県スポーツ競技力向上推進会議設置
平成3年 3月 4月 7月 8月 10月	県立サッカー場管理運営受託終了 事務局を県第3分庁舎3階(松江市北堀町15)へ移転 国民体育大会出場選手健康診断実施 島根県少林寺拳法協会と島根県綱引連盟加盟 石川国体の開閉会式に島根県選手団が、県花「ボタンの造花」をもって入場行進を行う
平成5年 5月	専務理事に廣江昭夫氏を選任 常勤の常務理事制を施行、諏訪守一氏を選任
平成6年 1月 5月 8月	(財) 島根県体育協会創立70周年記念事業(記念式典、功労者表彰) 島根県アイスホッケー連盟加盟 第49回国体中国ブロック大会を島根県で開催
平成7年 4月 9月 11月	「島根県スポーツ競技力向上基本構想」及び「第2次同5か年計画」がスタートする 地域指定スポーツ強化学業の実施、6市町を指定し、地域に根ざした競技スポーツを育成するための運営委員会を6市町村に設置 国体強化選手及び強化チームを指定し科学的トレーニングを実施 「島根県体育史(補遺、追録)」刊行 島根県ゴルフ協会加盟

年月日	内 容
平成8年 5月 8月 10月	島根県パワーリフティング協会加盟 島根県スポーツ少年団リーダー会設立 エンジョイ・スポーツセミナー開催、日体協公認指導者等163名が参加
平成9年 2月 3月 5月 11月	県立石見武道館竣工、管理運営受託 ヴィクトリーサミットイン島根開催、日体協公認スポーツ指導者等121名が参加 専務理事に諏訪守一氏を選任 県立体育館建設記念島根県体操競技大会が20回目を迎える 記念事業を実施（県立体育館建設20周年記念事業優秀選手模範演技会）
平成10年 5月	専務理事に目次理雄氏を選任
平成11年 4月 5月 8月	ジュニア競技力の向上を目標に中・高グローアップ事業開始 企業からの寄付が平成6年度からの5年間で申し入れ額の100万円に達したことから基本資産へ繰り入れる。基本金2億1,400万円とする 第54回国体中国ブロック大会を島根県で開催
平成12年 4月 7月	「島根県スポーツ競技力向上基本構想」及び「第3次同5か年計画」がスタートする 県立体育施設スポーツ教室が、県の委託事業から県体育協会の自主事業となる 県立武道館リニューアルオープン、30周年記念事業を実施
平成13年 3月	島根県トライアスロン協会加盟
平成14年 4月 7月 8月 9月	スポーツ振興くじ (toto) の補助金制度開始 スポーツ指導者派遣事業実施、6競技6校へ派遣 「スポーツ競技力強化特別対策事業」創設 国体選手競技力レベルアップ月間実施 県立水泳プール閉場に伴い、閉場記念セレモニーを開催 故岡田善富氏（体協元副会長）ご遺族から1,000万円の寄付金目録が贈呈される
平成15年 1月 4月 5月 7月 10月	機関紙「島根トップコーチ」を創刊 「岡田スポーツ振興基金」を財源に、全国のトップを目指す指導者を養成するため、「島根トップコーチ養成事業」を開始 夏季国体からドーピング・コントロールが実施されることから、アンチ・ドーピング活動推進事業を実施 専務理事に松尾秀孝氏を選任 新県立水泳プール竣工 事務局を県立水泳プール内（松江市上乃木10丁目4番2号）へ移転 県立浜山体育館竣工、同施設内にスポーツ記念室を設置、これに係る業務を受託
平成16年 1月 3月 4月 10月 12月	（財）島根県体育協会創立80周年記念事業（記念式典、功労者表彰） その年度に優秀な成績を収め、輝いているトップコーチへの表彰（岡田善富賞）を開始 専務理事に佐藤廣幸氏を選任 事務局組織改正（係制を廃止） 職員を各地域クラブに派遣して各スポーツの地盤をつくることを目的に、（財）島根県体育協会職員巡回スポーツクリニック事業を開始 島根県スポーツ少年団創設40周年記念事業（記念式典、特別表彰、県スポーツ少年団大会） 島根県ダンススポーツ連盟加盟

年月日	内 容
平成17年 4月 8月 11月	<p>指定管理者制度の導入により、県立武道館、県立水泳プール、県立ライフル射撃場、県立体育館、県立石見武道館、県立サッカー場の6施設の管理運営を受託（期間は5年間）</p> <p>「しまね広域スポーツセンター」を県立水泳プール内に設置 広域スポーツセンター事業受託（総合型地域スポーツクラブの育成・支援） 島根県教育委員会の「島根県スポーツ振興計画」がスタートする</p> <p>第61回国体中国ブロック大会を島根県で開催 理事長に有澤寛氏を選任 島根県ウォーキング協会加盟</p>
平成18年 4月 10月	<p>重点校指定・中学生指定競技強化事業の受託 10月スポーツ推進月間実施</p>
平成19年 6月 11月 12月	<p>溝口善兵衛氏（県知事）が会長に就任 県立体育館建設記念島根県体操競技大会が30回目を迎える 記念事業を実施（県立体育館建設30周年記念優秀選手模範演技会） 国民体育大会において入賞し、競技得点を獲得した選手、監督への特別褒賞制度を開始</p>
平成21年 4月 6月 8月	<p>スポーツ競技力・元気アップ事業実施（3年間実施） 専務理事に安井守氏を選任 第65回国体中国ブロック大会を島根県で開催</p>
平成22年 1月 4月 7月	<p>島根県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会設立 指定管理者制度2巡目、島根県ライフル射撃場が県から県体協へ譲渡される リーダーズアクション2010第48回全国スポーツ少年大会を開催 （スローガン『「だんだん」 みんなでつくるこころの世界遺産』） 島根県立武道館開館40周年記念第40回島根県少年武道大会開催</p>
平成23年 3月	<p>公益法人への移行を理事会・評議員会で議決</p>
平成24年 1月 3月 4月 6月	<p>くにびき国体30周年記念事業を実施（記念講演・新年賀会） 公益財団法人認可 島根県スポーツ指導者協議会解散 島根県綱引連盟脱退 島根県教育委員会の「島根県スポーツ推進計画」がスタートする 専務理事に下岡博司氏を選任</p>
平成25年 4月	<p>公益財団法人へ移行 島根県スポーツ・レクリエーション祭の運営業務を広域スポーツセンター事業として受託 島根県武術太極拳連盟加盟</p>
平成26年 1月 6月 8月	<p>公益財団法人島根県体育協会創立90周年記念事業（記念式典、功労者表彰） 島根県ウォーキング協会脱退 第69回国体中国ブロック大会を島根県で開催</p>
平成27年 4月 9月	<p>指定管理者制度3巡目 島根県スポーツ少年団創設50周年記念事業を実施（記念式典、作品募集、奉仕活動、壁新聞募集）</p>

年月日	内 容
平成28年 4月	島根県グラウンド・ゴルフ協会加盟
平成29年11月	県立体育館建設記念島根県体操競技大会が40回目を迎える 記念事業を実施（県立体育館建設40周年記念事業優秀選手模範演技会）
平成30年 6月 9月 11月	専務理事に安井克久氏を選任 理事会・臨時評議員会で第84回国民体育大会招致を決議 大会招致要望書を県・県議会・県教育委員会に提出 県・県教育委員会と連名で開催要望書を（公財）日本スポーツ協会と文部科学省に提出
平成31年 1月 3月 令和元年 6月 8月	公益財団法人日本スポーツ協会理事会で第84回国民体育大会の島根県開催が内々定 スポーツ少年団委員会を廃止しスポーツ少年団本部へ一元化 丸山達也氏（県知事）が会長に就任 理事長に田部長右衛門氏を選任 第74回国体中国ブロック大会を島根県で開催
令和2年 4月 10月	指定管理者制度4巡目 島根県エアロビック連盟加盟 島根県の「第2期スポーツ推進計画」がスタートする 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会設立総会・第1回総会が開催され、理事長が副会長に、副会長・専務理事が委員に選任
令和3年 2月 3月 4月 6月 7月	島根県競技力向上対策本部設立総会・第1回総会が開催され、理事長が副会長に、専務理事・スポーツ医科学委員長が委員に選任 「島根県体育協会中期計画」（計画期間：令和3年度から令和8年度まで）を策定 島根県ペタンク・ブール連盟加盟 島根県スポーツ少年団指導者協議会解散 島根県立武道館開館50周年記念第50回島根県少年武道大会開催
令和4年 4月	公益財団法人島根県スポーツ協会に名称変更 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度開始
令和5年 6月	専務理事に竹内俊勝氏を選任
令和6年 1月 3月	公益財団法人島根県スポーツ協会創立100周年記念事業（記念式典、功労者表彰） 同記念事業 記念講演開催（スポーツ競技力向上セミナー） 島根県スポーツ少年団創設60周年記念事業を実施（リーフレット、記念ステッカー作成）